

# クジラについて学ぼう！ / クジラ博士 の出張授業 ごあんない

一般財団法人日本鯨類研究所では、子どもたちの科学する心、自然と共に生きる力を育むため、小学校を対象に出張授業を行っています。日本鯨類研究所の研究員が「クジラ博士」となり、全国の小学校を訪問します。クジラの生態や日本の食文化との関わりなどについて、貴重な標本や写真を見ながら楽しく学び、体験学習として鯨料理を試食します。2003年にスタートし、これまでに全国校369校で授業を実施、たくさんのお子どもたちが体験してきました。



クジラについて学びます



歯や標本で大きさを実感



クジラ料理を試食

## 開催概要

対象	小学生（1年生～6生）※その他も相談可
人数	学年ごと、全学年などご相談ください
費用	無料（講師費や交通費等、一切不要です）

試食	給食や調理実習での鯨肉を使った料理の試食（鯨肉を無料で提供）
時間	2コマ（90分）
講師	日本鯨類研究所 研究員
教室	体育館、※相談可

## プログラム

### 1 クジラのはなし（講義） ※パワーポイントを使って講義します。

- ・クジラはどんな生きもの？（種類、生態）
- ・日本人とクジラのかかわり（歴史、資源管理、利用）

### 2 体験学習 ※専用機器や幕を使って講義します。

- ・クジラは音を聞いている？
- ・シロナガスクジラって大きい！

### 3 クジラ料理の試食 ※試食実施が可能な学校を優先とさせていただきます。

- ・給食時の試食用に鯨肉を無料でご提供します！
- ※料理方法は学校にお任せいたします。
- ※必要な鯨肉（冷凍）の量など事前にご相談をお願いします。
- ※給食での提供の場合は全校生徒分の鯨肉を提供いたします。

児童の学年に合わせた講義内容など対応が可能です。事前にご相談お願い申し上げます。

#### ご用意いただくもの

- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・マイク（大人数の前で講義を行うとき）
- ・白板2枚（板書と、B1サイズのクジラポスター3枚を掲示します）
- ・長机2台（歯や髭の標本を置きます）
- ・延長コード

※試食用の鯨肉は提供します。  
※家庭科室等で調理実習をする場合、調理器具は学校の備品をお使いください。



## 参加したみなさんの声

クジラをとっている  
れきしは、とても  
長いんだなあと思いました。  
(2年生)



体のしくみがよく  
わかりました。  
アゴから音が聞こえた  
のはすごかったです。  
(3年生)



ヒゲをさわったら、  
想像よりもずっと  
柔らかくて細かったです。  
(5年生)

クジラのにくが  
おいしかった。  
また食べたいです。  
(1年生)



## お申込み方法

申込書を事務局にお送りください。  
お問い合わせは電話・FAXでも承ります。

### クジラ博士の出張授業事務局 (株式会社インテンション内)

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 1-15-6 BR エビス AK ビル 3F

TEL 070-3398-6663 FAX 03-6800-6545

E-mail : kujira@intention.co.jp

申し込みフォーム



<https://forms.gle/YVvmWSev7qEqGmwn6>

## 日本鯨類研究所について

日本鯨類研究所は、鯨類資源の適切な管理と持続可能な利用の実現を目指して、さまざまな調査・研究活動を行っている機関です。

### 調査・研究の目的

#### (1) 漁業との競合の可能性を解明するために

クジラは海の生態系の頂点に位置しており、クジラだけが増加すれば海洋生態系全体のバランスが崩れることとなります。クジラが捕食する餌(魚・イカ・オキアミ等)の種類・量や、調査海域にいる餌生物を調査・研究することによって、クジラと餌の関係を把握し、クジラが人間の食べる魚へ及ぼす影響を調べるためにデータを収集しています。

#### (2) 鯨類資源の動向を把握するために

鯨類資源を持続的に利用するため、鯨類資源の動向に関する科学的データを収集しています。

#### (3) 系群構造の解明のために

「系群」と呼ばれる集団を持つクジラを合理的に資源管理するため、系群構造の解明に取り組んでいます。そのため、遺伝学的情報、形態学的情報、生態学的情報などの収集・分析を行っています。

#### (4) 海洋環境をモニターするために

長寿命で食物連鎖の頂点に位置するクジラを調査・研究することにより、海洋汚染状況などの海洋環境を知ることができ、海洋生物資源全体の管理にも役立ちます。



哺乳類であるクジラは、呼吸を行うために必ず水面に浮上します。調査員は水面に浮上したクジラを船の上から目視で確認し、何頭いるか数えます。



特殊な機材を使って鯨体の表皮を採集し、DNAやホルモンなどを分析する生体組織採集(バイオプシー採集)を行います。写真は、写真は、バイオプシー採集の様子です。



餌を食べるイワシクジラ